

営農技術情報

一畑作（初冬まき小麦）4月号一

平成31年 4月 5日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524
JA道北なよろ TEL01655-3-2521
JA道北なよろ営農センター TEL01654-3-4307

～排水対策の実施および早期追肥により、生育促進を図りましょう！～

1 融雪水の排除およびほ場周囲の融雪促進について

融雪が遅れそうな場合は、融雪材の再散布により、できるだけ速やかにほ場を露出させましょう。融雪後、滞水している箇所では株の枯死や雑草が繁茂しやすくなります。溝切りや額縁明渠等により、速やかに排水しましょう。

ほ場周囲や取付け部では、融雪が進みづらいですので、融雪剤の追加散布や「雪割り」により、できるだけ速やかに融雪させましょう。

2 pHの確認

融雪後、葉色が回復しなかったり、生育が進まない等の症状が見られる場合は、pHが低くなっている可能性があります。pH測定は、普及センターもしくは農業振興センターでできますので、ご相談下さい。

3 融雪後の追肥

「春よ恋」は倒伏しやすいため、生育および地力に合わせて適量を施肥しましょう。

(1) 窒素（単位は kg/10a）

【上川北部における窒素施肥法】（目標子実収量 480kg/10a、タンパク 11.5～14.0%の場合）

	地力区分		
	低	中	高
熱水抽出性窒素(mg/100g)	～5	～10	10～
融雪期	12	9	4
穂揃期	3	3	3

(2) リン酸・カリ（単位は kg/10a）

成分	低地土	泥炭土	台地土
リン酸	12	14	14
カリ	8	9	8

(3) 施肥例（単位は kg/10a）

肥料銘柄	施肥量	窒素	リン酸	カリ
BB121	90	9.0	18.0	9.0
BB532	60	9.0	13.8	7.2

4 除草剤例（登録内容は4月2日現在）

薬剤名	使用時期	10a 当り使用量	散布水量	使用回数
ガレース乳剤	は種後～出芽前	200～250ml	100 ㍓	1
	小麦1～3葉期	100～150ml		

※スズメノカタビラに対しては生育が進むと効果が劣る。

※イヌカミツレが多発するほ場では、基準範囲内の高薬量で散布する。